

# 競技上の注意事項

## 1. 選手の集合時間

第1試合については、試合開始予定時刻の30分前、第2試合以降についてはコールドゲーム等で試合開始が予定より早まる場合もある為早めに(遅くとも前試合の4回終了前まで)に当該球場に集合すること。

## 2. 打順表の提出

- ① 各チームの主将は、第1試合については試合開始予定時刻の30分前、それ以降の試合については前試合の4回終了時(別途指示ある場合を除く)に指定の打順表(5枚1組)に控え選手も含めて必要事項を記載し、各選手の氏名には必ず『ふりがな』を付けて各球場本部に提出すること。
- ② 相手チームの打順表は審判員・記録員により登録名簿と照合の上、審判員から受け取ること。
- ③ 打順表は、各チームで長崎県協会指定の物を準備すること。

## 3. 選手席(ベンチ)

- ① ベンチは組み合わせ番号が若い番号のチームを1塁側とする。但し、当該チームがダブルヘッダーで試合を行う場合はこの限りではない。(長崎県予選会時のみの特例)
- ② ベンチに入る人数は、参加申込書に登録された監督・引率責任者・マネージャー及び選手25名以内とする。(引率責任者は、監督が退場になった場合を除いてゲームに関する采配・プロテスト等の行為は一切できない。)

## 4. 競技用具の確認

- ① 競技用具は試合開始前に審判員が確認し、規定外の場合は当該球場本部にて預かる。(チームが球場を離れる際に受け取りに来ること)
- ② 競技用具の確認は基本毎試合実施する。

## 5. フィールドイング

- ① フィールドイングは、当該チームがその日の1試合目を実施する前(第1日目・第2日目とも)のみに、ベンチに入ることを許可されユニフォームを着用した監督及び選手25名以内で行うこと。
- ② フィールドイングは、後攻チームから5分間(終了予告1分前)とする。
- ③ 天候・大会運営の関係で時間を短縮又は省略することもある。

## 6. 競技規則

- ① (公財)日本ソフトボール協会2024年度オフィシャルソフトボールルール及び大会申し合わせ事項による。
- ② 7回又は80分の制限時間経過後(女子競技第1日目のみ)同点の場合は、次のイニングよりタイブレークにより試合を続行する。
- ③ 本塁から外野フェンスまでの距離は、女子:61m・男子:70mとする。

## 競技上の注意事項

### 7. 試合の変更

- ① 荒天等による試合中止の判断については会場において行う。
- ② 天候等により試合継続が不可能であると主催者・管理者が判断した場合には競技委員長の指示に従うこと。
- ③ 組合せに記載の開始予定時刻前であっても、大会運営の関係で前の試合終了後速やかに次の試合を開始する。尚、当該チームがダブルヘッダーの場合には特に考慮する。

### 8. その他

- ① 大会会場の開場時間（会場内での練習可能）は、第1日目【26日（土）】は8:00 第2日目【27日（日）】及び第3日目【28日（月）】は7:00とする。尚、会場整備や準備の妨げとならないように注意すること。
- ② 球場入り前の練習は、練習会場【なごみの里運動公園E球場】又は球場間の空きスペースを利用すること。尚、使用後の整備をチームで実施すること。
- ③ 球場入り後（試合開始前）の練習は、ファウル地域で行うこと。
- ④ 試合開始後は1組に限りファウル地域での投球練習を行うことを認める。
- ⑤ コーチズボックス内のランナーコーチは監督・選手に限る。
- ⑥ 学校長等の学校関係者が、許可なくベンチや球場本部等の規制区域に立ち入ることはできない。（大会本部にて関係者IDカードを発給するので受領すること）
- ⑦ 高校生らしくフェアプレーに徹する事。卑劣なヤジやラフプレーは禁止する。
- ⑧ 金属スパイク使用に伴う規則は、全国高等学校体育連盟ソフトボール競技専門部の決定事項に従うこと。
  1. 明らかに金属スパイクによるラフプレーと思われる行為が発生した場合には、大会審判長及び担当審判員は協議の上判断し直ちに当該選手を退場させる。尚、この判定に関するプロテストは一切受け付けない。
  2. ラフプレー等による退場選手が出た学校は、高等学校体育連盟ソフトボール競技専門部の責任において、嚴重注意と以後の指導を行う。

今大会の会場作成は、高体連専門部の申し合わせで下記の通りです。

C球場：長崎商業高等学校、D球場：向陽高等学校、

F球場：大村工業高等学校

会場作成は、10月25日（金）12:00～ 行います。